

謹賀新年



枕崎市長
前田 祝成

12月13日 瀬戸

新年明けまして

おめでとうございいます

令和六年(二〇二四年)が

いい年でありますように

皆さまのご健勝、ご多幸、

ご活躍を心からお祈りします

「暮らし」を楽しむ一年に

新年明けましておめでとうございいます。ご家族で、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

3年もの長い間、私たちの暮らしに影を落とした新型コロナウイルス感染症が昨年5月に感染症分類5類となり、ようやく社会経済活動も日常を取り戻しつつあります。4年ぶりに2日間のフル開催を計画していた本市最大のイベントである「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港祭り」が、台風の影響で中止を余儀なくされたことは残念でしたが、秋には市内神社の豊年祭り、農

業祭、明治蔵新酒祭りやハロウィンイベントなどが開催され、多くの人が賑わいました。

また10月14日から16日の3日間、3年前に中止となった「特別国民体育大会燃ゆる感動かごしま国体」なごなた競技会が枕崎市立総合体育館で全国47都道府県の選手、関係者を迎えて盛大に開催されました。その国体では、成年女子演技競技において、鹿児島県代表の田口真耶選手と秋葉笑里選手のペアが、栃木国体に続く2連覇を達成しました。鹿児島県選手団は少年の部も大健闘して、総合成績3位を獲得し大会を大いに盛り上げてくれました。選手の皆さんの

活躍や、大会に関わってくださった全ての皆さんの献身的なご尽力により、素晴らしい大会になりました。本当にありがとうございました。

世界を見渡すと、ロシアのウクライナ侵攻は終息せず、中東でも新たな紛争が勃発、日本の周辺では隣国の警戒すべき動きも頻発しており、地政学的にも経済的にも予断を許さない状況が続いています。ウクライナ情勢、中国経済の失速や長引く円安等によるコストプッシュ型のインフレが発生し、物価高に所得上昇が追いつかない状況は我が国の経済に大きな影響を及ぼしています。また、国内の政治も国民の信頼を得られていないと言えず、不安定な状況が続いています。将来の見通しにくい状況が続いていますが、コロナ禍から脱した今こそ、市民の力を結集させ、枕崎の魅力、その価値を上げていくことが求められていると思います。

昨年は秋にSHIRORYAMA HOTEL Kagoshimaで実施した「枕崎フェア」が好評を博して、日本一の鯉節をはじめ、ぶえん鯉や鯉のたたき、タカエビや伊勢海老、枕崎牛や鹿籠豚、さらには、お茶、たんか

ん、焼酎など枕崎の自然の恵みが、料理人の技を加えた独創的な提供により県内外の多くのお客様を魅了しました。また秋には4年ぶりに「第10回カツオマイスター検定」を開催し、県内外からの受験者に枕崎のカツオの奥深さを感じていただきました。そして昨年に引き続き、今年も韓国のチョンダム高校野球部や全日本大学野球選手権優勝の青山学院大学など5チームの野球合宿が枕崎市営野球場で計画されており、関係者の皆さんに枕崎の食や風土を体感していただきます。さらに4月には、枕崎お魚センターもリニューアルオープンして多くのお客様をお迎えすることとしています。コロナ禍が明けて、これから大いに本市の魅力を国内外に発信して、枕崎の「ていねい・本物」を多くの皆さんに、お伝えしていく一年にしようと思います。

私たちもこの機会にもう一度、枕崎の風土、魅力を再確認して、ふるさと枕崎に誇りを持って、ここでの「暮らし」を楽しむ年にしていきたいです。結びに、今年一年が市民の皆さんにとりまして、健やかで幸せな年になりますよう心から祈念申し上げます。